

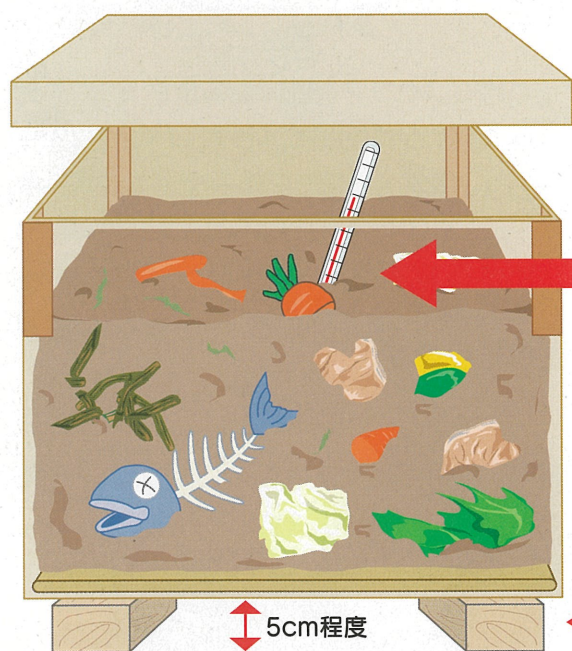
# 段ボール堆肥づくりの手順

## 1. 用意するもの (4人世帯用)

- ① 段ボール箱・・・10kgのみかん箱程度（縦30cm×横40cm×高さ30cm程度）
- ② ふた用、中敷き用の段ボール
- ③ 箱を浮かせるもの・・・木片、レンガ、ラップの紙芯など
- ④ ピートモス・・・15リットル程度
- ⑤ もみがらくん炭・・・10リットル程度
- ⑥ かくはん用のこて・・・古いしゃもじや、園芸用のスコップなど
- ⑦ 温度計・・・必ず必要なものではありませんが、あると便利です。

## 2. 準備

用意した材料を使って下図のように準備してください。



別の段ボールでふたを作る。ふたは虫が入るのを防ぎ、保温や防臭の効果がある。

上ふたは起こし、ガムテープ等でとめて、箱を深くする。

中心部に温度計をさす。

基材（ピートモス3：もみがらくん炭2程度の割合）を箱半分程度入れる。

底は中に段ボールをもう1枚敷き、二重にする。

床にベタ置きしないために、木片などを置き、その上に段ボール箱をのせる。

## 3. 生ごみを入れる

2で作ったダンボール箱に生ごみを入れ、よくかき混ぜてください。

1日の投入量の目安は、だいたい5～600g以内です。

（基材5リットルに対して約100g）

生ごみは分解され、重量で1/3～1/5に減ってしまいます。

※初めて投入するときや、基材が乾燥してサラサラしている場合は、コップ1～2杯の水を補給し、よく混ぜてください。湿り気は、握ってみて、少し手に残る程度がよいです。

